

睡眠関連医療技術分野

担当講座	睡眠医療学科	問合せ先	睡眠医療学科
分野責任者	西島 嗣生 教授	連絡先	内線3358
担当教員	西島 嗣生 教授 細川 敬輔 特任講師 千葉 伸太郎 客員教授 三島和夫 客員教授 山内 基雄 客員准教授 佐藤 和朗 教授 (歯学部 口腔保健育成学講座 矯正歯科学分野) 笠井 良彦 非常勤講師 宮崎総一郎 非常勤講師		
人材育成の基本理念	本課程は、睡眠呼吸障害、不眠症、過眠症などの睡眠関連疾患に関する幅広い知識を備え、各種病態と行動睡眠との関わりや、ヒトの行動と医療関連感染制御などの行動医学的課題について、総合的、横断的に洞察できる能力を有する臨床指導者および医学研究者を育成することを基本理念としている。		
主な研究内容	呼吸生理学、睡眠生理学、睡眠呼吸障害、呼吸管理理学、不眠、過眠、各種睡眠関連疾患の病態生理と診断治療、医療関連の人間行動に関する学修。さらに、生体リズム維持のための行動変容や睡眠医療の臨床における行動科学の応用研究など。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	(1) 睡眠関連疾患にかかる検査、医学的介入、治療について理解することで、臨床や職域の指導に応用できる存在となる。 (2) 睡眠関連検査についての原理・手法の習得を通じ、睡眠医学の臨床や職域の指導、研究への応用ができる存在となる。 (3) 睡眠関連治療技術についての原理・手法の習得を通じ、睡眠関連医療の治療介入に参加できる存在となる。 (4) 睡眠関連疾患における行動学の役割や行動制御に関する知識を身に付け、適切な療養の支援が可能となる。	1,2,3,4,5,6	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論、睡眠関連医療学Ⅱ-1	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ、睡眠関連医療技術Ⅰ-2	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ、睡眠関連医療学Ⅱ-2	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。	多職種連携チーム医療	
	(5)次世代の育成に貢献できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ	
	(6)睡眠検査手技と検査結果の実際の解析作業を通じて、睡眠医療に対する正しい知識と技術を育む。また睡眠検査が実際の診断や研究にどのような形で応用されているのかを、実体験を通して理解する。	睡眠関連医療技術Ⅰ-1・3・5・8	
	(7)睡眠医療における脳波等の解析基準や精度管理の基本を習得する。	睡眠関連医療技術Ⅰ-2・5・8	
	(8)呼吸生理に関する知識と検査法(呼吸機能検査・血液ガス検査含む)に関してその基本から臨床応用について習得する。	睡眠関連医療技術Ⅰ-6・7	
	(9)持続気道陽圧(CPAP)療法の基本原理を学び、機器操作や条件設定、異常時の対応についての知識を習得する。	睡眠関連医療技術Ⅰ-4	
	(10)持続気道陽圧(CPAP)療法の療養指導と治療効果の判定についての知識を習得する。	睡眠関連医療技術Ⅰ-4・5	
(11)持続気道陽圧(CPAP)療法関連技術(酸素療法、ASV、NPPV、人工呼吸器など)についての知識を習得する。	睡眠関連医療技術Ⅰ-2・4		
資格取得等			
履修に関する情報	履修申請の際には必ず事前に相談すること。社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる (問合せ先:睡眠医療学科・内線3356)		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに必要な単位	備考
研究特論	1年	講義 睡眠関連医療技術Ⅰ-1	後期	15コマ	2	20単位	※20単位以上の取得可
		演習 睡眠関連医療技術Ⅰ-2	通年	30コマ	4		
		講義 睡眠関連医療技術Ⅰ-3	後期	15コマ	2		
		講義 睡眠関連医療技術Ⅰ-4	後期	15コマ	2		
		実習 睡眠関連医療技術Ⅰ-5	後期	45コマ	3		
		講義 睡眠関連医療技術Ⅰ-6	後期	15コマ	2		
		講義 睡眠関連医療技術Ⅰ-7	後期	15コマ	2		
		講義 睡眠関連医療技術Ⅰ-8	後期	15コマ	2		
	2年	講義 睡眠関連医療学Ⅱ-1	前期	15コマ	2		
		講義 睡眠関連医療学Ⅱ-2	前期	15コマ	2		
講義 睡眠関連医療学Ⅱ-3		前期	15コマ	2			
特別研究	必修	1年 特別研究Ⅰ(中間審査)	通年	15コマ	2	4単位	
		2年 特別研究Ⅱ(論文作成)	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

睡眠関連医療技術分野

コード	MM12211010				MM12211020				MM12211030				MM12211040			
科目	睡眠関連医療技術 I - 1				睡眠関連医療技術 I - 2				睡眠関連医療技術 I - 3				睡眠関連医療技術 I - 4			
科目責任者	西島嗣生				西島嗣生				細川敬輔				細川敬輔			
担当者	西島嗣生、佐藤和朗、宮崎総一郎				西島嗣生				細川敬輔、千葉伸太郎				細川敬輔、三島和夫			
会場	睡眠医療学科研究室 他				睡眠医療学科研究室				睡眠医療学科研究室				睡眠医療学科研究室			
区分等	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	4	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2
	回数	後期15コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1
主な授業内容	睡眠検査総論				睡眠医療学科研究検討会				睡眠関連疾患の診断技術				睡眠関連疾患の治療技術			
教育成果	様々な睡眠疾患に対する検査法を理解できる。				科内で行われている研究内容が理解できる。				睡眠時無呼吸症候群、REM行動異常、ナルコレプシー、むずむず脚症候群、概日リズム障害の検査法を理解できる。				睡眠時無呼吸症候群、REM行動異常、ナルコレプシー、むずむず脚症候群、概日リズム障害、不眠症の治療法を理解できる。			
SBO	分野の達成目標 (6)				分野の達成目標 (2) (7) (11)				分野の達成目標 (6)				分野の達成目標 (9) (10) (11)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	睡眠学 (日本睡眠学会編集)、最新臨床睡眠学 (日本臨牀)、臨牀睡眠検査マニュアル (日本睡眠学会編)、Sleep Medicine PEARLS															

コード	MM12211050				MM12211060				MM12211070				MM12211080			
科目	睡眠関連医療技術 I - 5				睡眠関連医療技術 I - 6				睡眠関連医療技術 I - 7				睡眠関連医療技術 I - 8			
科目責任者	西島嗣生				西島嗣生				西島嗣生				西島嗣生			
担当者	西島嗣生、三島和夫				西島嗣生、山内基雄				笠井良彦、細川敬輔				細川敬輔、山内基雄			
会場	睡眠検査室 (中8階病棟)				睡眠医療学科研究室				睡眠医療学科研究室				睡眠医療学科研究室			
区分等	区分	実習	単位	3	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2
	回数	後期45コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1	回数	後期15コマ	配当年次	1
主な授業内容	終夜睡眠ポリグラフィー検査の実施法				呼吸生理検査の基礎と臨床				血液ガス分析の基礎と臨床				終夜睡眠ポリグラフィー検査の解析法			
教育成果	終夜睡眠ポリグラフ検査を装着できる。反復睡眠潜時検査を行う事ができる。				呼吸機能検査を実施できる。呼吸機能検査の結果を見て説明できる。				血液ガス検査のデータを読める。酸塩基平衡を理解できる。				睡眠脳波を読むことができる。睡眠中の心電図異常をとらえることができる。			
SBO	分野の達成目標 (6) (7) (10)				分野の達成目標 (8)				分野の達成目標 (8)				分野の達成目標 (6) (7)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義後終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。							
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	睡眠学 (日本睡眠学会編集)、最新臨床睡眠学 (日本臨牀)、臨牀睡眠検査マニュアル (日本睡眠学会編)、Sleep Medicine PEARLS															

●各科目の授業計画

睡眠関連医療技術分野

コード	MM12211090				MM12211100				MM12211110							
科目	睡眠関連医療学Ⅱ-1				睡眠関連医療学Ⅱ-2				睡眠関連医療学Ⅱ-3							
科目責任者	西島嗣生				西島嗣生				細川敬輔							
担当者	西島嗣生、山内基雄				西島嗣生、細川敬輔				細川敬輔							
会場	睡眠医療学研究室				睡眠医療学研究室				睡眠医療学研究室							
区分等	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	4				
	回数	前期15コマ	配当年次	2	回数	前期15コマ	配当年次	2	回数	前期15コマ	配当年次	2				
主な授業内容	睡眠関連医療学総論				睡眠医療学抄読会、研究検討会				睡眠行動医学 総論							
教育成果	正常睡眠を理解できる。				自ら英語論文を読み抄読会で内容を説明できる。				睡眠行動異常の疾患を説明できる。							
SBO	分野の達成目標 (1)				分野の達成目標 (3)				分野の達成目標 (6)							
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	睡眠学 (日本睡眠学会編集)、最新臨床睡眠学 (日本臨牀)、臨牀睡眠検査マニュアル (日本睡眠学会編)、Sleep Medicine PEARLS															

コード	MM12219010				MM12219020											
科目	特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ											
科目責任者	各(正)指導教員				各(正)指導教員											
担当者	各指導教員				各指導教員											
会場	各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定											
区分等	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2								
	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2								
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・中間審査の準備 				<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備 											
教育成果	生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。											
SBO	分野の達成目標 (2) (3) (5)				分野の達成目標 (2) (3) (5)											
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。											
評価方法	「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程																
教科書参考書																

●時間割

睡眠関連医療技術分野

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	睡眠関連医療学 II-1	睡眠関連医療学 II-2				基礎科目
2 限	10:30~12:00		睡眠関連医療学 II-3				
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30		睡眠関連医療技術 I-2	特別研究 I			
6 限	19:40~21:10		特別研究 II	特別研究 II			
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	睡眠関連医療技術 I-1	睡眠関連医療技術 I-4				基礎科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30			睡眠関連医療技術 I-6			
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	睡眠関連医療技術 I-3	睡眠関連医療技術 I-2	特別研究 I	睡眠関連医療技術 I-7	睡眠関連医療技術 I-8	
6 限	19:40~21:10		特別研究 II	特別研究 II	睡眠関連医療技術 I-5	睡眠関連医療技術 I-5	

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						